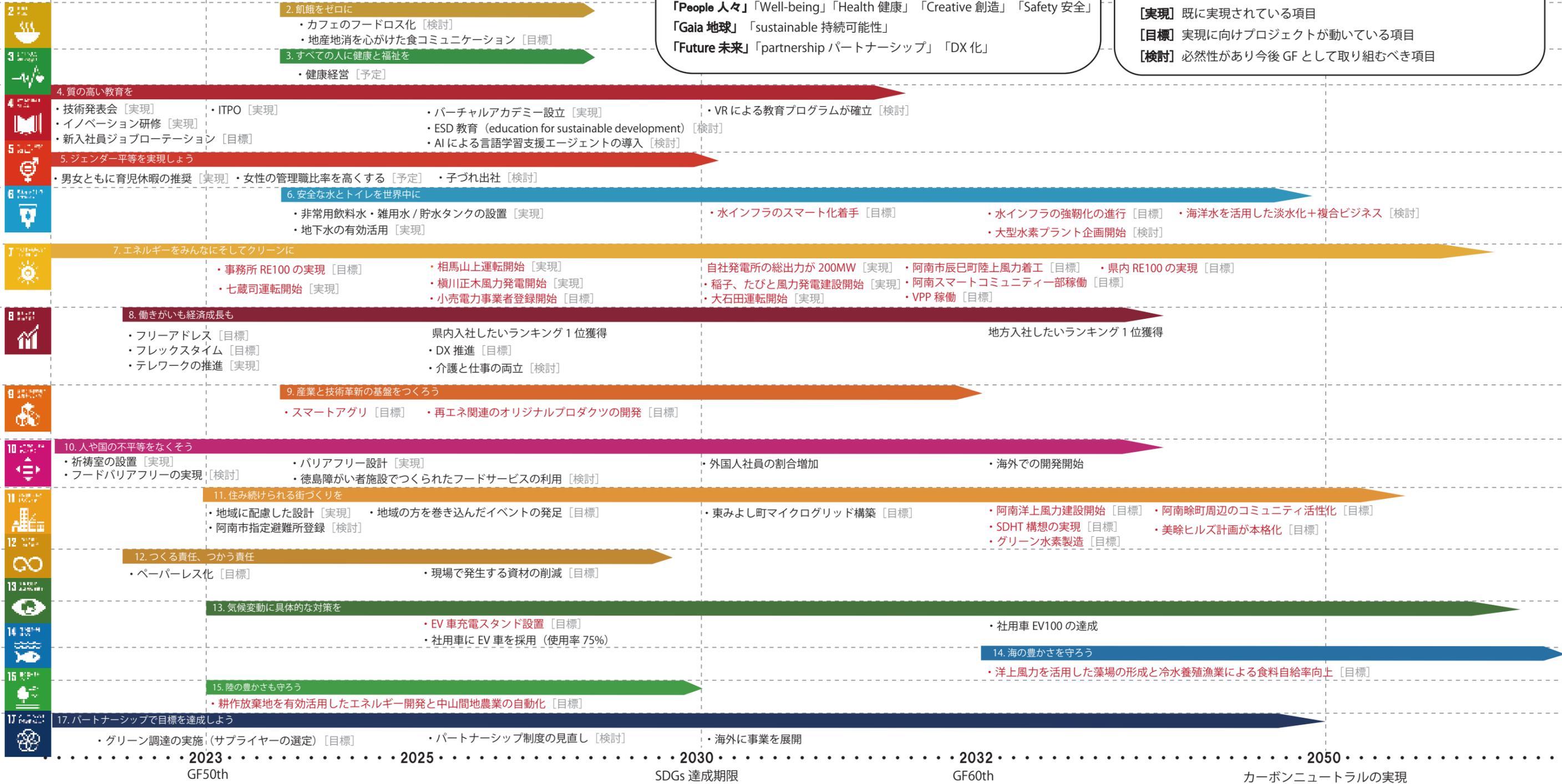


GF SDGs LOADMAP

新社屋 「本社移転計画における3つのカテゴリと7つのキーワード」

▶本社移転計画における3つのカテゴリと7つのキーワード
 「People 人々」「Well-being」「Health 健康」「Creative 創造」「Safety 安全」
 「Gaia 地球」「sustainable 持続可能性」
 「Future 未来」「partnership パートナーシップ」「DX化」

▶ロードマップの見方
 上から SDGs の 17 の目標順（一部省く）に今後起こりうることを記述
【実現】 既に実現されている項目
【目標】 実現に向けプロジェクトが動いている項目
【検討】 必然性があり今後 GF として取り組むべき項目



PHASE 1
● 外部的要因
 ウイルスの脅威や戦争リスクによる混乱
 新型ウイルスの脅威や戦争リスクによる
 物価の高騰など世界規模で混乱が生じている。
● 内部的要因
 多様な働き方の背後にある本質的課題の抽出と分析
 最新の働き方を徹底リサーチし、どの要素を
 組み合わせるか検討し、制度づくりを行う必要が
 あります。

PHASE 2
多様化する働き方と、技術革新に伴い企業や個人の意識改革が必要に
 世界的要因 / 民族・宗教・LGBTQ の尊重 / 女性社会進出の増加 / 生産年齢人口比の減少に
 伴いワークスタイルが多様化。DX 化が進み「人間だけが生み出せる価値」の重要度 UP!!
 企業にとってもワーカーにとっても従来の働き方とは異なる変化を求められるように。
社員の物心両面の幸せの実現・企業ブランディングの重要性が肝に
 GF が 50 周年を迎え新社屋が完成し、多様な働き方の実現や環境の変化に伴い各人の
 意識の変化が起こる。ミッション・理念を常に忘れず移転先でも身を引き締め
 周辺住民の皆様との信頼と共に地域に根差した企業としての正当性を追求。
 またアウターブランディング強化により、より優れた社員の確保。今後厳しくなる
 人材確保の点で差別化をし、優秀な社員の採用により企業性を向上させる。

PHASE 3
成長限界を迎え、世界的課題が露わに！SDGs の考えに順応できない企業が次々と倒産。
 マサチューセッツ工科大学の研究により 2030 年頃をきっかけに成長限界を迎えると予想。
 様々なテクノロジーの発達により自動化が進む。また 2030 年は SDG s 達成期限であり、
 様々な企業が SDG s の理念に合った事業展開を検討。
RE100 や様々なプロジェクトが稼働し事業が飛躍 (国内再エネ普及率向上・地域雇用創出)
 七蔵司太陽光発電や、風力発電と太陽光のハイブリッド型太陽光発電所である相馬山上や
 大石田などの自社発電所の稼働。横川正木や稲子・たびと風力発電所の建設開始など
 風力事業を本格的に着手。また SDHT の実現により、徳島の再エネ普及や活性化により、
 徳島を豊かにそして幸せにする。阿南洋上風力やマイクログリッド・水インフラの
 スマート化着手により、国内の課題を解決出来る企業となる。

PHASE 4
SF 的未来がそこに、、、「モノの価値」や「仕事の在り方」が変化
 シンギュラリティが起こり社会、そして人間のあり方が大きく変化。
 汎用な人型ロボットの普及。医療革新において人間の平均寿命が 100 歳に
 なるなど、SF の未来が到来。
世界規模で解決しなければならない課題に対し対応出来る企業に
 PHASE3 での経験を基に国内外の課題を解決出来る企業となる。
 より企業としての骨格が太くなり、世界を視野に事業を展開。
 GF にできる事を着実に広げミッション理念を忘れず常に新たな事業を
 模索し、チャレンジングかつクリエイティブな企業へ。